

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 城南会	代表者	山根 邦夫	法人・ 事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と職員との関係作りを大切にし、馴染みのある関係が出来るように、コミュニケーションを積極的にとり、楽しく過ごせるように支援する。 又、家族の介護負担軽減に配慮し「訪問・通い・ナイト・ショートステイ」のサービスを柔軟に対応します。 家庭的作業や屋外活動・毎月の行事等の取り組みを行い、在宅生活が継続できるように、個々の生活リハビリに力を入れています。 				
事業所名	小規模多機能型施設 MOMO	管理者	高良 清作						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	2人	1人	0人	9人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・アセスメントを確認して、利用者の求めている内容を、再度職員間で共有する。	・利用者の担当者会議や、日頃の会話の中で、本人が求めている事や行いたい事を、知る事ができ、それに達成出来るよう心掛けた。	・計画が十分に取り組めなかつたら、計画の一部を改善するのも大切です。	・利用者のニーズを具体的に把握して、職員全員で共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き、誰でも事業所に気持ちよく、出入りしやすい環境を整える。	・利用者と一緒に MOMO 玄関先に花壇を作り、来訪者が気持ちよく訪れる環境が作れた。 ・感染予防の為、来客者の出入りを、最小限にした。	・今後も利用者と一緒に日々の活動を色々提供して下さい。 ・コロナ渦で事業所に自由入れない。	・感染対策を十分に行い、引き続き施設内外の美化環境に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の活動計画を、再度確認し、地域との関りを大切していく。又、MOMO 交流室の活用も広めていく。	・新型コロナウイルスの影響で、認知症カフェ（いちゃりば café）の開催が出来なかった。 ・運営推進会議で交流室を活用する事が出来た。 又、感染対策に配慮して、訪問理髪店を呼び、利用者の散髪を行う事が出来た。	・感染対策を行い、地域行事にも参加して下さい。 ・新型コロナウイルスの状況が落ち着いたら、交流室を活用して、包括とコラボで、出来る事を行いたいですね。	・感染対策を十分に行い、地域包括支援センターなどと、連携して、地域の行事などに利用者と参加して、地域交流に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・新型コロナウイルス感染防止も考えて、地域行事等の参加は、安全面に配慮し、継続し支援する。	・感染防止の為、地域行事の参加は難しかったが、日々の活動の中で、予防対策を行いドライブ等に連れて行く事が出来た。	・感染対策にも配慮して、安全に地域行事に参加して下さい。	・感染拡大を予防しながら、地域行事などを把握して、利用者と参加して交流する  福祉部

E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の参加家族が増えるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族に運営推進会議の年間予定表を事前に配布して、参加の有無を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メンバーの方が増えたら、色々な意見がもらえると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、開催日程を調整して、更に参加家族が増えるように呼びかける。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路や、避難場所を職員全員が理解して災害時には、安全に行動する。 ・海拔を確認して、掲示板に表記する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中と夜間想定の避難訓練を実施して、職員間で安全に行動する事が出来た。 ・海拔表記を那覇市に問い合わせ、国土地理院に連絡した所、現在は委託事業なので、費用は事業所負担になるとの事。代わりに防災マップを掲示板に、表記した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難経路を確認する事は大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の為に、避難経路や避難場所など、職員全員で再確認を行う。